

包括外部監査結果に対する措置状況報告後の進行管理状況

実施年度	テ ー マ	指摘 件数	過年度 措置済	R7検討状況		意見 件数	
				措置済	継続検討		
R 6	債権管理に係る事務の執行について	8	-	8	0	34	
過 年 度	R 5	特別会計及び基金に係る事務の執行並びに事業の管理について	9	7	1	1	16
	R 4	教育の振興に係る事務の執行及び事業の管理について	2	2	-	0	37
	R 3	警察本部の事務の執行及び事業の管理について	7	7	-	0	39
	R 2	自然災害対策に係る事務の執行及び事業の管理について	2	2	-	0	47

包括外部監査結果に対する措置状況報告後の進行管理表

1 令和5(2023)年度 特別会計及び基金に係る事務の執行並びに事業の管理について

番号	項目	監査結果	措置状況報告 (翌年度)	R7措置状況報告	所管所属
1	第1章 基金 第7節 栃木県地域振興基金	令和2年度以降あまり活用されておらず、基金残高約23億円からすると事業のために取り崩される金額は少ない。 当該基金は地域の振興に資する事業の財源に充てる目的であることから、幅広い事業に活用できる可能性もあり、明確な活用方針を策定し、今後さらに幅広い事業に活用していくか、それとも長期運用による有利な運用をしていくか検討すべきである。	御指摘を踏まえ、今後の財政状況を勘案し、対象事業の拡大や長期の運用など、幅広く活用・運用方針を検討していく。	「文化と知」の創造拠点整備など大型地域振興関係事業に活用することを基本とし、具体的な充当額等については、事業年度ごとの事業費を踏まえ、別途整理することとした。	財政課
2	第1章 基金 第8節 栃木県土地開発基金	宇都宮市本町13番外2筆については平成20年度より本町合同ビルの附置義務駐車場として企業局に無償で貸し付けられ、企業局は有償で社会福祉法人栃木県社会福祉協議会に転貸し、同法人は時間貸し駐車場としている。当初の取得目的であった県庁舎周辺整備事業とは異なる用途に供されており、利活用の検討については平成29年度の包括外部監査においても求められていた。本来の取得目的に沿った利活用の方針を定め、目的外の利活用の状況を早期に是正すべきである。	当該土地は、令和5年度実施のサウンディング調査の対象地（栃木会館跡地及び中央郵便局跡地）とはなっていないが、対象地と近接していることから、今後、利活用について検討していく。	当該土地は、令和8年度実施の栃木会館敷地整備事業の対象ではないものの、今後実施予定のシンボルロード拡幅事業の道路用地となることを見込まれるため、シンボルロード拡幅事業と連携した利活用を検討していく。	管財課